

かみ すき よるの なでし こ
髪梳夜撫子
〈初演〉

へ世の中の人のころはさだめなき うつるかがみにくもりなく 子ゆへのやみに
みだれがみ つげのをぐしもあかなれし 心のうちをあらひがみ ゆふにいはれぬ
ときぐしの ついなげしまだあまよ へたれにかみせんしまだわけ しまだの
ふちはせとなれど こひのふちせはやるせなや へとにかくにものおもふ身はせひ
もなき いつかあふもりのこがらすくちずさみおそれうき思ひ むかしがたりの
あすか川。